

玉石混淆(ギョクセキコンコウ)玉と石と、つまり、すぐれたものとつまらぬものが入り混じっていること。今は“混交”と書く。

毀誉褒貶(キョホウヘン)悪口とほめことば。
金科玉条(キンカギョクジョウ)金や玉のよいうにりっぱな法律文。つまり、このうえなくたいせつにして従うべききまりを言う。

欣喜雀躍(キンキジャクヤク)大喜びで小踊りすること。

金城湯池(キンジョウトウチ)金で作った城と熱湯を入れた堀の意で、非常に守備の固い城を言う。“金城鉄壁テツベキ”ということばもある。

欽定憲法(キンテイケンポウ)君主の命によって選り定められた憲法。明治憲法がこれである。

空前絶後(クウゼンゼツゴ)以前に一度もなく、今後も起こらないだろうと思われ、珍しいことを言う。

群雄割拠(グンユウカッキョ)各地を地盤とした英雄たちが、互いに勢力をふるって対立すること。戦国時代の様相。

牽強附会(ケンキョウフカイ)道理に合わないものを、自分の都合のよいように、むりにこじつけること。

喧喧囂囂(ケンケンゴウゴウ)発言が多くてやかましい様を言う。侃々諤々と混用することがあるので注意。

乾坤一擲(ケンコンイツテキ)運命をかけてのるかそるかの大勝負をすること。

捲土重来(ケンドチョウライ)前に敗れた者が勢いを盛り返し、重ねて攻めて来ること。

絢爛豪華(ケンランゴウカ)目がくらむほどきらびやかに美しく、ぜいたくではなやかなこと。

巧言令色(コウゲンレイシヨク)ことばをうまく飾って言い、顔色をつくらってあいそを見せること。孔子は、こういう態度の者には誠実さが無い(巧言令色少ないかな仁)と言った。